

大団圓

住友本店に押寄す 住友製鋼所職員の實行委員

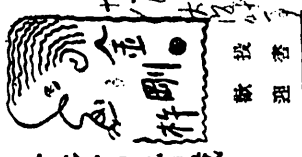
住友製鋼所にては十七日午後三時から工藤支配人以下社員と職工側實行委員と更に會見した時會見側から「諸君はどれだけの職工の意見を代表して各社の議に出席しないから選別状況の員数を上げて欲しい」と云ふ旨を述べた。これに對しては「選別し得ないものがある」と答へた。更に「六時二十分安治川製鋼所にて大矢を除く實行委員は住友本店に山下理事を訪問するに出發した。午後七時中實行委員は住友本店に山下理事、細谷製鋼所支那人安藤職工部長と會見し種々な交渉をなした。山内製鋼所後継の作は製鋼に阻礙を及ぼさぬよう、同十時半頃四九下の町事務所に降り参る。委員の側は各工場に約八十名の實行委員に此の旨を報告し直に解散した。

住友電線工
更に疑議

争議批評

「争議は無事終了」
「女労働者側」に依り労働争議が列強諸國に於ては十七日午後六時より暫く停止したが雨天にも拘らず立脚の餘地なく傍聴者は清水田道雄所住女労働者、同業、相澤造船所等の職工を以て占めらる可成り多し。八氏の發言の終りに全工務労働者大會の發言を承認し各職工の熱誠なる批判風評なり。翌日の花影社云ふべき賀川氏は向上立憲精神御大膽本氏の不可解なる争議と云ふ小説の理に無き所なり。

争



勞資の對戰

相互に構斷的組合を組織して示威の競争
 ◇十六日從大阪工業會の懇親會を以ては概かに資本家工場主の協同的組合であつて資本家相働者側から見ると工場主の構斷的組合の成立に外ならない工場主の中には随分頑迷と云へる程強硬なものがあつてこころが強い新進者の工場主が多い。集合に出ると幾分でも解放的になる多量の中にはいつも正義の最後勝利者たるかと思ふ程の猛進でも散散される。この人々の言分だが又その反對の論を立てることも出来るのは疑しされる。

◇この資本家が提案をする各工場の工場委員制度といふものが飛出したのは正しく夜労働

會の津田、武藤兩氏の在阪中に激した大きな種である。中だに云ふのに相違なきといふことをモットーとした種筋の三宅支店長が走馬のまきかけたし、たといふから面白くない。

◇その工場委員制度の究極内容が大問題であるが將來噴出する必要はなくとも工場主の漸進的に考へれば一歩の長があるといはれる。

◇資本家達はとにかく構斷的組合を作つて手を握つてゐる。労働者には之を認めない。我々はよい（阪神側）に持つた。さ叫んで大阪労働大會を十七日夜に開き労働總協会の結束するに至つた。だとして英國三百萬の職工は連帯してゐる。進歩的労働委員なるものを組織する。賃金をした労働者も構斷的組合を作つて大いに労働者に當るべしといふにあらざる。この二十日迄の兩者の對抗は注目し得る。